

学校評価アンケートの結果について

【令和5年度 児童アンケート】

A:あてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:あてはまらない

質	問	A	B	C	D
1	友だちや先生と自分の考えや気持ちを話したり聞いたりできます。	59.0%	32.5%	7.7%	0.9%
2	友だちや先生は自分の考えを聞いてくれます。	64.3%	30.6%	2.7%	2.4%
3	自分の考えをもって話し合い活動に参加しています。	50.8%	39.7%	7.7%	1.9%
4	お互いの思いや考えのよさや違いを感じたり考えたりしています。	59.8%	33.6%	5.5%	1.2%
5	学び合いを通して、よりよい考えをつくり出したり、自分の考えに生かしたりしています。	54.5%	37.2%	7.1%	1.2%
6	授業の内容がわかります。	69.9%	24.1%	4.8%	1.2%
7	たてわり・ペア活動では、ペアの人と楽しく活動しています。	78.1%	18.5%	1.7%	1.7%
8	いろいろな活動に、自分ができていることを意識して取り組んでいます。(係活動・校外学習・運動会など)	68.7%	27.2%	3.1%	1.0%
9	健康に気を付けて生活を送っています。(休み時間に外で遊ぶ・元気アップタイムなど)	64.8%	29.0%	5.1%	1.0%
10	学習や行事で地域の人と関わったり、地域のことを考えたりしています。	55.5%	36.2%	6.7%	1.7%
11	困ったときや悩んだときに相談できる人がいます。(家族・先生・学年の先生友達・カウンセラー・習い事の先生・電話相談など)	70.1%	22.9%	4.6%	2.4%
12	先生や友だち、登校の見守りの方(学援隊)、地域の方とあいさつをしています。	64.8%	25.7%	6.0%	3.4%
13	教科ごとに先生が変わる授業や中学校の先生の授業を受けて、中学校での生活や学習に対して見通しがありました。	45.9%	45.4%	5.7%	3.1%

児童のアンケートについては、概ね A、B を合わせた割合が 9 割を越えています。中でも、質問項目7については、ここ数年で最も高い数値となっています。コロナ禍では制限の多かったペア学年やたてわりでの活動が増え、充実した活動を行うことができ、達成感を味わえた様子が見られました。

【令和5年度 保護者アンケート】

A:できている B:ややできている C:ややできていない D:できていない E:わからない

質問項目	A	B	C	D	E
1 「授業づくり」について	51.8%	36.1%	3.6%	0.4%	8.2%
2 「豊かな心」について	51.4%	36.1%	5.4%	1.4%	5.7%
3 「健やかな体」について	52.5%	37.5%	4.3%	2.5%	3.2%
4 「地域とともに歩む」について	61.4%	30.4%	2.5%	0.7%	5.0%
5 「いじめへの対応」について	35.4%	30.4%	7.9%	1.8%	24.6%
6 「小中一貫」について	32.5%	28.6%	15.4%	2.9%	20.7%
7 「地域協働活動」について	55.7%	31.1%	3.9%	0.4%	8.9%
8 「児童指導」について	42.1%	44.5%	5.7%	1.0%	6.7%

質問項目 5、6 において「わからない」との回答が 20% を超える結果となっています。項目 5 「いじめへの対応」については、いじめとのかかわりがなかったために「わからない」に至ったのではないかと考えています。項目 6 「小中一貫」については、中学校教諭によるリード授業や児童生徒交流会を行っていない低学年にはその良さが伝わりにくい状況だったことがうかがえました。結果を踏まえ、情報を発信していけるようにしたいと考えています。それ以外の項目については、できている・ややできているの回答が合わせて 8 割強となっており、一定の成果を得られていると考えます。

児童・保護者のアンケートから、子どもたちが学習で友達と意見を交わしながら、お互いの思いや考えのよさや違いを認め合い、よりよい考えをつくり出したり自分の考えに生かそうとしたりして、ひびき合っている実感をもっていることがうかがえました。今後とも、授業や校外学習、体験学習などの学校行事を通して、子どもたち同士のかかわり合いや、地域やさまざまな立場の人とのかかわりを大切にし、学校教育目標である「ひびきあい」の実現に向けて取り組んでいきたいと思ひます。